

神戸大空襲62年犠牲者を追悼



手を合わせ犠牲者の冥福を祈る参列者ら(神戸市兵庫区の薬仙寺で)

昭和戦争末期の1945年に起きた神戸大空襲の犠牲者を追悼するため、市民団体「神戸空襲を記録する会」(中田政子代表)は17日、神戸市兵庫区の薬仙寺で慰霊祭を営んだ。同市内への最初の大規模空襲があったこの日に合わせて毎年開いており、今年も遺族ら約150人が参列、当時を思い出し、献花などで冥福(めいふく)を祈った。

神戸市兵庫区の薬仙寺で)

慰霊祭では、空襲で逃げまどう親子を描いた紙芝居の朗読のほか、県立友が丘高3年千田理沙さんによる卒業研究「神戸空襲の行方不明者遺骨調査」の発表なども行われた。神戸では当時、3月17日のほか、5、6月にも大規模空襲があり、焼夷(しょうい)弾による爆撃で計8000人以上が亡くなったとされる。

3月17日の空襲で母(当時48歳)と弟(同10歳)を亡くした同市須磨区の無職伊須原貞子さん(82)は「火の海の中を父と一緒に逃げた記憶がよみがえった」と手を合わせた。

(<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hyogo/news001.htm>)

私も、3月17日に時宗薬仙寺で行われました、神戸空襲慰霊祭に普照院住職として出席させていただきました。普照院もこの空襲で本堂を含め境内全焼の憂き目にあい、お檀家様の中にもこの空襲に被災された方が沢山おられると聞いております。この法要の後、薬仙寺の境内からこの運河、そして大和田橋を見て思ったのですが、あの空襲の折、熱さから逃れるために運河に飛び込み、海面上を漂う焼夷弾のアブラに引火した火でお亡くなりになった方々の遺骨が、まだあの水の下に沈んでいるのかと思うと、戦争の爪痕というのは、いつまでも決して消えるものではない、と感じました。ご冥福をお祈りします。

毎年、3月17日には時宗薬仙寺にて、法要が行われており、代表の中田さんは、この空襲でお亡くなりになった方々の被災者名簿を作成されております。皆様の中で神戸空襲にてお亡くなりになった親族の方々がおられましたら名簿に加入いたしますので、是非ご一報下さい。

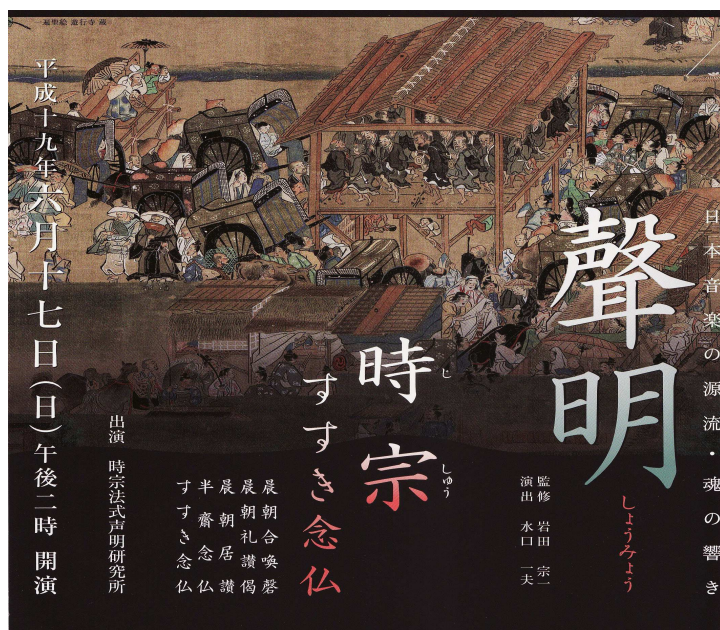
「花まつり」をご存知ですか？

4月になると、新しい生活が始まります。子供達も同じように、新しい学校や新しい学年になるわけですが、特に、始業式を4月8日に設定している学校が多いのではないのでしょうか。因みにこの日は、仏教の開祖お釈迦様がお生まれになった日でもあるのですが、ご存知でしょうか？

最近はお寺でも、この『花祭り』を行うところが減ってしまいましたが、本来キリスト教でいうところの『クリスマス』に当たるわけですから、仏教徒としてもお寺としましても、やはりお祝いをしなければいけないと、私は考えております。お釈迦様の誕生仏像（右手で天を、左手で地を指している像）に甘茶をかける行事・・・と書けば思い出された方も多いのではないのでしょうか。特に私達の世代（住職36歳）やそれ以下の世代に、是非この花祭りを知っていただきたく思います。

来年の4月には、普照院でも勤修予定です。宜しくお願い致します。

時宗僧侶が参加する「声明」公演：京都南座 【6月17日(日)】



*京都南座にて、時宗声明の公演が行われます。

ご希望の方は、住職までご連絡頂ければ入場料1割引(1等席¥6,615)となります。

(*私も参加予定です。)

京都南座
四條

〒605-0075 京都市東山区四條大橋東詰
TEL 075-561-1155
松竹ホームページ <http://www.shochiku.co.jp>

〔編集後記〕

3月も終わりに近づいたある夜、犬の散歩の為に大輪田橋の上を歩いておりました。眼下に広がる運河の黒い海面に、白い帯状の物体が沢山漂っていました。「ああ、赤潮か。」と思い覗き込むとその白い帯状の真下から、たくさんの青黒い光が流れては消えていきます。とても驚きましたが、おそらくは発光するプランクトンが大量発生している為の現象なのだと、時間が経つと理解できました。しかし、ここは紙面の冒頭にも書いたように、太平洋戦争下の神戸空襲で沢山の方がお亡くなりになった場所でもあります。思わず手を合わさずにはおれませんでした。

合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田宗治

☎653-0861 神戸市長田区林山町 17-1

TEL078 - 691 - 5688

ホームページ： <http://www.geocities.jp/husyohin2006/>